

よいことの ために Weekly Report 2025-2026 手を取りあおう



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム	第2644回	9月5日
卓話「国際大会報告」住谷会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2643回	8月22日
高松西ロータリークラブ3年計画について		
担当者	行動計画推進リーダー・村上会員	例会場 JRホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さま、こんにちは。
2週間ぶりの例会となりますがお盆はいかがお過ごしでしょうか？
私は今年は十勝帯広方面に行っていました。
道の駅ごとにソフトクリームを食べ続けた結果、帰ってきたらすっかり3キロ体重が増えておりました。
肝心の釣りですがヒグマ出没地域に嫁さんを長時間放置する訳にもいかないんでちょっぴりしか出来なかったのが心残りでした。
ということで最後までよろしくお願いします。

堀井幹事報告

- 回覧 ・地区大会登録のお願い
・ハイライトよねやま
・令和7年度麻薬・覚せい剤大麻乱用防止運動の実施について
・ロータリー全国囲碁大会の実施の案内



ニコニコBOX

納涼家族会で子ども達にプレゼントいただきありがとうございます 堀井
いました。
納涼家族会、楽しい夜会でした。 梶原
島谷さん家族会では失礼しました。 磯崎
早退 1件

合計4件

本日の合計 16,500円

2025-2026年度累計 186,000円

9月5日 今日は何の日	今日生まれの有名人	
石炭の日/国民栄誉賞の日	1997年 齊藤京子	1965年 仲村トオル
1971年 欧陽菲菲が「雨の御堂筋」でデビュー	1990年 菊地亜美	1952年 草刈正雄
2000年 ツバルが国連に加盟	1974年 伊達みきお	1903年 棟方志功
誕生花 「オミナエシ」花言葉は“美人・親切・約束を守る”		
誕生石 「サファイア」宝石言葉は“真実・忠誠・誠実・冷静・集中力”		

それこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それこそ ローローロータリー



メイクアップ

8月 2日	米山卓話研修会	藤田
8月12日	高松東RC	有友 磯崎
8月14日	高松RC	有友 岡田 藤田
8月19日	高松中央RC	江島 泉谷
8月21日	高松RC	江島 岡田

出席報告

出席委員長：大西一正

会 員 数 /	44 名	出席規準数 /	42 名
出 席 者 数 /	25 名	欠 席 者 数 /	17 名
出 席 率 /	59.52%	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /	8 月 1 日	80.49% →	82.93%

2025-2026 年度 8 月定例理事会

- 日 時 2025年8月22日
場 所 JRホテルクレメント高松：例会場
出席者 鈴木、遠藤、堀井、五ノ坪、松岡、住谷、朝倉
議 題 ① 2025年10月24日実施予定の例会を休会とする件
→ 翌日にある地区大会への参加を促すことを前提として、10月24日の例会を休会とすることが承認されました。
② 米山奨学金奨学金延長プログラムについて
→ 延長は申請しないということになりました。

RI 会長からのメッセージ（8 月）



教育を通じた平和

フランチェスコ・アレツツォ
2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長

私のRI会長への就任は、突然かつ予期せぬ形で訪れました。この出来事を通じて、世界は一瞬で変わるものだということ、そんな変化の中でも、ロータリーは常によりよいことをするために安定した力を持っていることを再認識しました。今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。私たちに課せられた使命は明確です。私たちが奉仕する地域で、人類の学びの土台を支えることです。

世界には、文字を読めない人が何百万人もいます。基本的教育を受けられない子どももいます。しかし、私たちはその解決法を知っています。持続可能で、インクルーシブで、公平な教育です。特に女兒と社会から取り残された若者のための教育は重要です。識字とは、単に読み書きができる能力ではありません。人間の尊厳、経済的な自立、平和への鍵となるものです。本を開くこと、教室を設けること、教師を養成すること、その全てが平和の礎となるのです。

今年のロータリーのメッセージは、「よいことのために手を取りあおう」です。「手を取りあう」とは、私たちが互いの中に見いだす強さを表しています。クラブ同士だけでなく、パートナー、組織、地域社会と手を取りあったとき、私たちは参加

者の基盤を拡大することができます。これらを継続的に行うことで、永続的な変化をもたらすことができます。ロータリーの奉仕は年次目標だけで測ることはできません。教育分野での私たちの活動は、1年で終わるものではないのです。識字率向上プロジェクトは、根付き、成長し、実りをもたらすには時間がかかります。

今こそ大胆かつクリエイティブに考える時です。新しい形のクラブは、教育者、学生、支援者を巻き込む新たな方法になります。今月は、教育への情熱を持つ新しい会員を迎え入れ、既存会員には地域のニーズを反映した奉仕プロジェクトを実施できるよう支援しましょう。図書館の建設、教科書の配布、学生の指導など、どんな行動でも意味ある一歩です。

教育はまた、平和の構築でもあります。私たちが提供する奨学金、支援する幼児教育プログラム、成人向けの識字教室への資金提供は、平和のための活動です。ロータリーは100年以上にわたり、このような方法で平和を築いてきました。

識字という課題において、単に「教育の機会を提供する」だけでなく、「教育の公平性」を追求する必要があります。どのような背景にある人でも、学びのチャンスが等しく与えられるべきです。そして、国境、言語、世代を超えて、教育は特権ではなく権利であるということを私たちは一つになって主張することも必要です。

持続的な識字率向上の実現に向けて行動し、よいことのために手を取りあいましょう。全ての子どもが文字を読むことができる世界を夢見て、私たち世界を変える行動人が、この夢を実現するために協力しましょう。

教育の力を活用して、人々の人生を豊かにすることができます。共に、よいことのために手を取りあいましょう。

公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂いたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しく願い申し上げます。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

よいことの
ために
手を取りあおう



次週のプログラム

第 2645 回

9 月 19 日

新会員卓話・松宮直輝会員

担 当 者 プログラム委員会

例 会 場 JRホテルクレメント高松

The Rotary Club of Takamatsu West